

卸売市場活性化の大チャンス？



全国公設地方卸売市場協議会事務局
豊田市公設地方卸売市場 場長 柴田康宏

全国公設地方卸売市場協議会とは

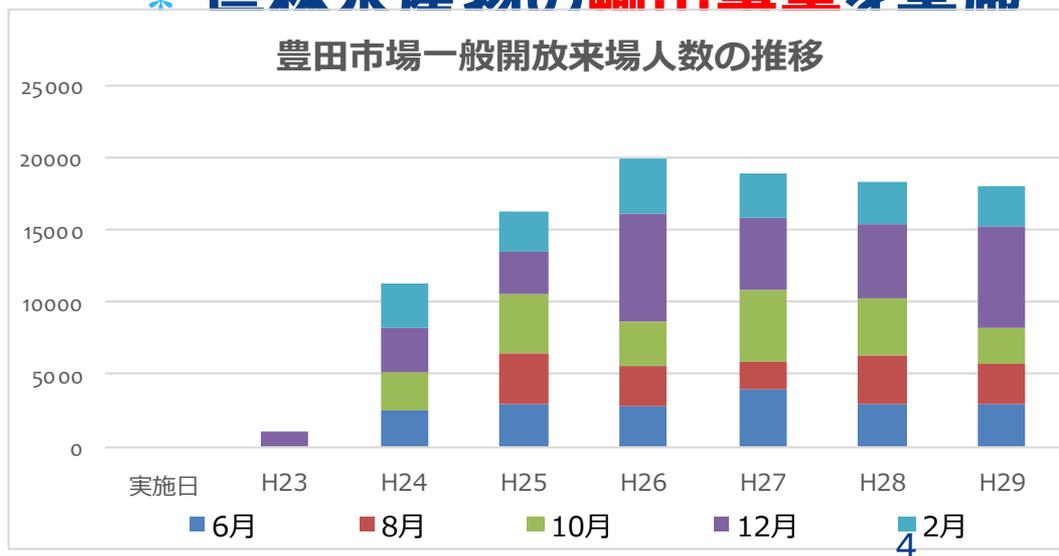
- * 北は北海道から南は九州まで、公設地方卸売市場の**61開設者、72市場**が会員として加盟
- * 開設者自治体間の連携を密にし、市場の管理、業務の適正化と運営の円滑化をはかり、市場の健全な発展に寄与することを目的とする（規約の抜粋）
- * 年間1回の総会、年間2回の役員会を開催するとともに、農水省を交え常時情報の共有を図っている
- * 豊田市は現在会長市として事務局を担っている。平成30年6月からは、山形市が会長市

公設地方卸売市場とは

- * **地方自治体が開設者**となり、都道府県知事の許可を受けて開設している**地方卸売市場**
- * 全国約1,100の地方卸売市場中、約100が公設
- * 自治体が公の施設として整備、運営を行う
- * 対外的に公設というネームバリューで信頼性はある
- * 一方で、自治体職員は定期的に人事異動があるため、長年営業している卸会社等社員と比べると、専門知識に欠ける部分がどうしても否めない

現在の会員市場の活性化の取組み

- * 規模、回数は異なるが、**一般開放、市場まつり**等を実施
- * **食育教室、市場見学会**を実施
- * ホームページ等による**情報発信**を実施
- * **農林水産物の輸出事業**を実施



豊田市公設地方卸売市場の取組み① 「SNSを使った情報発信」



豊田市公設地方卸売市場さんが写真4件を追加しました。

柴田 康宏さんの投稿
火曜日 8:11

【デコボンと不知火(しらぬい)の違いは？】

今、デコボンが旬です。主に本場の熊本県から豊田市公設地方卸売市場に入荷しています。

さて、頭部がこぶのように突き出ているのが特徴のデコボンですが、実は不知火(しらぬい)というみかんと同じ品種です。この不知火の中でも糖度13度以上、クエン酸1%未満のものだけがデコボンを名乗ることができます。これにより不知火よりデコボンの方が美味しいと思われがちですが、デコボン... もっと見る



- **Facebook**による市場からの情報発信を開設者が毎日実施
- せり立会の早朝出勤市職員が交代で投稿（市職員数は4人）
- 旬の入荷情報や市場内の出来事などを市民向けに発信
- フォロワーは、約800人。1投稿あたりのリーチ数は最大で約7,000
- ホームページにも毎日自動掲載

豊田市公設地方卸売市場の取組み② 「産地との強力タッグ」



平成30年2月の一般開放では、青森県弘前市の農業活性化アイドル・りんご娘のPRステージを実施。中央卸売市場以外では、豊田市場が全国唯一

- 夏の一般開放を、地元産フルーツ特集として、地元JAの協力で実施
- 青森県弘前市との行政間のパイプで、りんご販売促進キャンペーン「**パワーアップる!**」を年間2回実施
- 一般開放時に、その時旬のフルーツを産地の協力を得て試食で入場者に振る舞い
(これらの取組みは、**開設者**が主体となって実施)

卸売市場法改正後の活性化は？ (会員市場からの意見も含めて)

- * **道の駅**など常時小売ができるスペースの設置
- * 卸売会社の共同で**パック詰め・配送**等を実施
- * 一般対象の「**市場飯**」**食堂**の誘致
- * **給食センター**の併設
- * **大規模保育所**の誘致
- * **障がい者作業場所**の誘致
- * **食育教室**が実施可能なスペースの設置
- * **入場制限の撤廃** (いつでもだれでも購入可)



はたして実現は可能なのか？

- * 卸売市場法改正により、地方卸売市場は都道府県知事の許可制から認定制に移行するが、自由度が増すことになるのか？従来通りの指導にならないか？

→都道府県担当部署との調整

- * 都市計画法、建築基準法、流通業務市街地の整備に関する法律など、他法令でも縛られる卸売市場に自由度は生まれるのか？

→他法令所管部署との調整

活性化のキーワードは「多機能化と連携」

- * 卸売市場法改正により、取引ルールの設定は各市場に委ねられることになるが、活性化と財源確保のための**多機能化**は必須
- * 生産者（産地）、場内事業者、売買参加者等需要者、消費者間の**連携**を図る場としての卸売市場の役割は不変
- * 国には、ハードに加え、ソフトの支援もご配慮いただきたい

地方卸売市場の生き残り策

- * **情報発信の継続**
- * **場内事業者のやる気の喚起**
- * **産地との信頼関係の構築**
- * **近隣他市場との連携**
- * **効果的な施設整備**
- * **指定管理者制度導入等
による経営改善**



毎朝行われるせりは、市場の活気の源。

豊田市公設地方卸売市場（公式） Facebook 始めました



豊田市公設地方卸売市場さんが写真4件を追加しました。

柴田 康宏さんの投稿
火曜日 8:11

【デコボンと不知火(しらぬい)の違いは？】

今、デコボンが旬です。主に本場の熊本県から豊田市公設地方卸売市場に入荷しています。

さて、頭部がこぶのように突き出ているのが特徴のデコボンですが、実は不知火(しらぬい)というみかんと同じ品種です。この不知火の中でも糖度13度以上、クエン酸1%未満のものだけがデコボンを名乗ることができます。これにより不知火よりデコボンの方が美味しいと思われがちですが、デコボン... もっと見る



豊田市公設地方卸売市場の公式 Facebook ページを作成し、平成28年6月1日から卸売市場の情報をほぼ毎日発信中です。ぜひご覧ください。いいねを押していただくと嬉しいです。

○**目的** 卸売市場の3大機能は、集荷と価格決定と情報発信。当市場で一番欠けていた情報発信を行うツールとして活用を図ります。

○**コンセプト** 市場の情報を発信し、売買参加者等登録店舗の販売促進に繋がります。一般開放時には、タイムリーな話題を即時に提供します。

○**掲載例**

- ・旬の農産物の初入荷情報
- ・珍しい農林水産物の紹介
- ・市場見学、一般開放など市場そのもののイベント など

○**リンク** 豊田市公式ホームページのSNS一覧からもご覧いただけます。

豊田市公設地方卸売市場ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.toyota-oroshiurishijou.com>

※新規投稿ごとにリンクを自動更新

○**アドレス等**

QRコード



アドレス <https://www.facebook.com/oroshiuri.toyota/>

○**運用状況** 基本的に開場日には必ず1日1回以上更新（記事追加）。内容によって差異はありますが、多いもので7,000人以上に閲覧(リーチ)していただいています。投稿への「いいね」は、50人程度。公式ページへのいいねは、2月28日現在759件です。

○**問合せ** 豊田市産業部卸売市場 柴田 電話 0565-33-3421

場内事業者・売買参加者・買出人のみなさんへ

豊田市公設地方卸売市場（公式）

Facebook をご活用ください

豊田市公設地方卸売市場(公式)の Facebook を裏面資料のとおり、平成28年6月1日から運用しています。

基本的には、開市日には必ず更新(投稿追加)を行い、市場からの情報発信に努めています。

そ・こ・で！

場内事業者(卸・仲卸、関連店舗)の皆さんにお願いします。

- ・〇〇の産地へ行ってきました
- ・今シーズン初めて〇〇〇が入荷しました
- ・こんな珍しいものが入荷しています
- ・特別な〇〇〇を売買参加者の□□□さんが仕入れました
- ・〇〇〇は、こんな食べ方をするとおいしいです
- ・今の季節だけのおすすめ商品があります

などの時事ネタ、トクダネを管理事務所にご提供ください。スマホ等で撮影した写真もメールや LINE など送付いただくとありがたいです。例えば果物の写真については、箱ごとの写真と果物の拡大写真、人ごと写った写真の最低3枚はお願いしたいと思います。

送付先 oroshiuri2@city.toyota.aichi.jp

もうひとつ！

売買参加者・買出人の皆さんにお願いします。

- ・卸売市場でこんなものを仕入れました
- ・卸売市場直送品取扱店ののぼりを使ってセールを行います
- ・卸売市場で仕入れた〇〇を使って季節の料理を提供しています

などの時事ネタ、トクダネを管理事務所へご提供ください。スマホ等で撮影した写真もメールで送付いただくとありがたいです。例えば魚の場合は、仕入れ時の魚の拡大写真、料理の写真、お店の外観などの写真がお願いできたらと思います。

送付先 oroshiuri2@city.toyota.aichi.jp

※実際に豊田魚市場のブランドマグロを、ある売買参加者のお寿司屋さんが仕入れたと Facebook で紹介したところ、「Facebook に載っていたマグロを食べさせて」とお客さんが来店されたことがあったそうです。卸売市場とタイアップして集客増につなげましょう。売買参加者・買出人であれば、積極的にお店の宣伝もさせていただきます。

問合せ 豊田市公設地方卸売市場 柴田

0565-33-3421